

地震に備えましょう

2月1日未明、携帯電話がとつぜん鳴りだし、その直後に地震がおそってきたことは覚えてらっしゃる方が多いと思います。

震源は茨城県南部とのことでした。携帯による警報は、震源から距離が遠いほど余裕を持って報知できることになっておりますが、茨城からの距離でほぼ同時でしたので、想定される首都直下地震などでは完全に地震が先、警報が後、になることだと思います。寝込みをおそわれたら、ほとんどの方が対応できないということです。

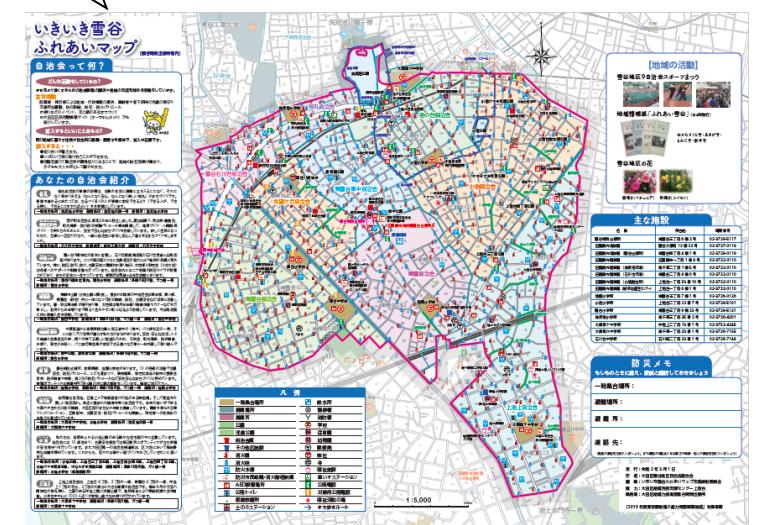
安心して過ごすためにご自宅の耐震化をご検討されてもよいのではないかでしょうか。区では区役所7階の防災まちづくり課が窓口になっており、耐震診断・耐震補強など耐震化に関する相談に応じています。昭和56年5月以前に建てられた建物であれば助成制度が活用できます。建物以外にも道路に面している危険なブロック塀等を撤去し、新しいフェンス等を設置する工事の助成制度もあります。

また、すぐにできることとして【家具の固定】があります。阪神大震災の時には、家具転倒による直接の怪我のほか、出入り口をふさがれて避難できず火災にあうなどの被害もありました。ご自身でも可能です。建物の丈夫な骨に取り付けるために、「下地探し」という針のついた道具を利用すると安心です。(ホームセンターや通信販売で購入できます。1,000円くらいから)

(小池・若杉健志【セダー建設 一級建築士】)

3月1日発行!!

いきいき雪谷ふれあいマップ



いきいき雪谷
ふれあいマップ

自治会って何?

あなたの自治会紹介

主な施設

防災メモ

（南雪谷・中村好子）

雪谷特別出張所の窓口で配布しています。雪谷地区の魅力や役立つ情報がたくさん詰まっていますので、ぜひご活用ください！！

掲示板

クリーン大田強化週間の町内清掃のご案内

雪谷石川台自治会では今年も、自治会活動の恒例になっております「町内の清掃」を下記のとおり行います。

日 時：6月7日（日）午前10時から※雨天決行

集合場所：雪谷石川台自治会館前

清掃用具：自治会で用意します

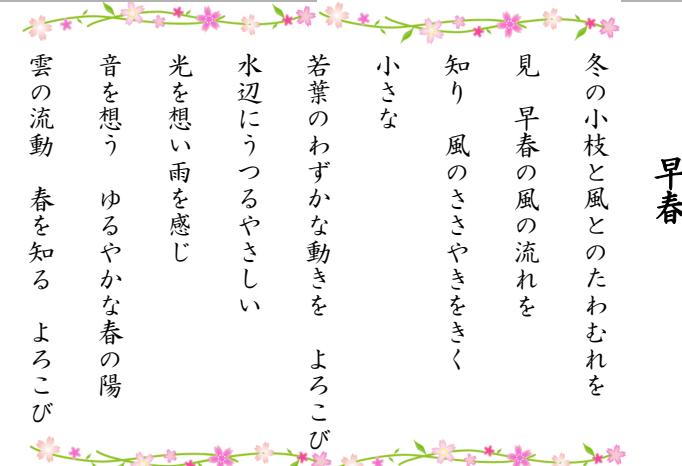
会員の皆様ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



リニア新幹線東雪谷非常口工事の今

リニア新幹線の非常口（兼換気口）と地下設備棟が東雪谷一丁目5番にできます。昨秋には地下設備棟建設の土留め用に敷地境界全周に深さ40mの連続壁が完成し、現在は非常口建設のために直径約40mの円周に沿って深さ約120mまで鉄筋コンクリート地中連続壁を打つ土留工事が行われています。土留工事の完成予定は来夏で、その後は土留壁内側の土砂を掘出し非常口の躯体建設工事へと進みます。

（笛丸・森下輝夫）



早春

編集後記

令和最初の桜の季節がやってきました。若いころは遠出をしても名所を巡って樂しみました。ここ数年は近場で満喫しています。石川台中学校前の呑川沿いで夜桜見物、昼・夜と楽しめる洗足池も恒例になりました。昨年9月にオープンした「激動の時代を駆け抜けた」勝海舟記念館には貴重な資料が沢山あり、館内見学では時を忘れるほど感動しました。

令和2年に入ってから明るいニュースが少ない中「災害の無い平穏で明るい一年でありますように」と願いつつ、「ふれあい雪谷」を通して、雪谷地区の絆が深まりますよう編集委員一同全力で取り組んでまいります。

（雪谷石川台・倉田清子）

編集委員

笛丸・小久保 衡子／雪谷石川台・倉田 清子／南雪谷・河野 洋一郎／東雪谷東中・秋山 一雄／池の台・柏 三八子／小池・原 龍興／上池上・船山 康夫

地域情報紙

ふれあい
雪谷

令和2年4月 さくら号 通卷第118号



手芸
南雪谷・河野照代さんの作品

ふれあい雪谷(創刊:平成2年(1990)12月20日) 年4回発行
(1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお号／10月・もみじ号／の1日発行)
[発行日] 令和2年(2020年) さくら号 4月1日(通卷第118号) 発行
[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集] ふれあい雪谷編集委員会
[連絡先] 大田区地域力推進部雪谷特別出張所
〒145-0065 大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826
http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_yukigaya/index.html

子育てと学生生活との両立

昨年の4月、私は新たな夢である看護師になるため、東京都立荏原看護専門学校に入学しました。入学前は、40歳を超えてからの入学に不安もありましたが、実際に入学してみると社会人経験者が多く、様々な世代の学生に刺激を受け、毎日非常に充実した日々を送っています。

育児をしながらの学生生活で一番の難題は、勉強時間の確保です。家にいる時には、なるべく家族と一緒に過ごしたいと考えているため、私の勉強時間は明け方です。21時に子どもたちを寝かしつけながら、自分も一緒に就寝し、3時から4時に起きて勉強するようにしております。しかし、下の子がまだ4歳ということもあります。勉強中起きてきてしまうことや、よく熱を出してしまって、思うように勉強できないこともあります。そこで、通学する電車の中で授業の復習をする、料理をする際キッチンにプリントを貼るなどして時間を有効に使う工夫をしています。

私の看護学生生活は、家族の協力なくしては成り立ちません。主人は仕事が忙しいにもかかわらず、進んで家事や育児を分担してくれ、小学四年生の娘は、4歳の弟の世話を進んでやってくれています。いつも助けてくれる家族のためにもしっかりと学び続け、患者さんに寄り添える看護師になりたいと思っております。

(東京都立荏原看護専門学校2年・馬渕恵子)



東京都立荏原看護専門学校の概要（東雪谷四丁目5番28号）

昭和46年4月開校。各学年定員80名。卒業生3,600名ほど。3年間で看護学等97単位3,000時間履修（うち臨地実習1,035時間）し、看護師の国家資格を習得するとともに、病院等に勤務する。明るく穏やかで誠実な校風の中で、資格試験の合格率は全国平均を上回っている。

産声の産院包み梅白し
みどりいろ
嬰児のこぶしにつかむ春の色
春日傘回しみくじの大吉に
退院の歩幅小さく花菜風
産声は天与のちから聖五月
青空へ心音弾む更衣

優しさにあふれた東京昭和幼稚園

本園は昭和9年創立、86周年を数える歴史のある幼稚園です。創立者の澤野次郎、澤野千歳氏は藝術大学出身であり、昭和から平成、令和の時代に移りましたが、本園はいつの時も音楽を大事にしてきました。私は、4年前に4代目の園長に就任し、その初代の遺志を継いで子ども達の優しい歌声に耳を傾けてまいりました。そして令和元年度までに6,551名の卒園児を送り出しました。

また本園では、年齢を超えて関わる『なかよし会』という活動を随時、保育に取り入れています。年少3歳、年中4歳、年長5歳児が混ざってグループを作り、一緒に触れ合い遊びやダンス、手つなぎ散歩や会食と、お互いの交流を深めております。文字通り、子ども達同士が遊びながら仲良くなる『なかよし会』です。他者と楽しさを共有するだけでなく、相手を思いやる優しい気持ちを育て、心の成長が見られるこの活動。上のクラスの子は、下のクラスの子の目線に合わせてかがみ、優しい声で語りかけます。小さい組には優しく教えてあげる、という事が自然とできてしまうのです。それは、かつて自分が優しくしてもらった経験から、“小さい子には親切に関わる”事が身についているからです。そして、年度末にはこれまで優しくしてくれた感謝として、年少・年中組の子が共同でプレゼントを製作し、年長組の卒園をお祝いします。

色んなお友だちがいて、色々な個性があり、どれもみな大切な存在…。どうしたら、皆が仲良く、平和に暮らせるか?色々な人の優しさに支えられて生きている…。子ども達は生きていく上で、一番大切な事を学びながら園生活を送っています。縦割り交流を通して、思いやりの心や感謝の気持ちが育った東京昭和幼稚園の子ども達は、お互いを認め、受け入れ合う優しい子ども達です。

(学校法人池の台学園東京昭和幼稚園園長・齋藤 一)

近隣の小学校では夏休みに

保護者、地域の協力者やOBの中学生が、小学生を対象に、囲碁・将棋・紙飛行機・ピザ作り・美術館巡り・スポーツなど50～100のプログラムで子ども達をサポートしています。

私は「算数なんてめんどう、でも面白いかも」と言うタイトルで学校で教えない四則演算やコンピュータの計算などについて話をしています。

そのなかで、国語、算数、英語はコツコツ勉強して覚えないとい出來ない。学校を卒業して、社会に出ると、国語、算数、英語に相当する内容は、辞書やネットで調べたり計算機を使っても答えを出せばよいのです。算数については、小学校時代は満点を取れず、ずっと勉強をしていないのに、中学・高校になると満点が取れるのはなぜ？ それは、色々なことをコツコツ勉強して覚えることによって、頭が鍛えられ育つからです。食事をして運動することによって体が育つのと同じです。だから、勉強なんて面倒くさいかもしれませんのが、コツコツ勉強してください。

一方、学校を卒業すると、社会・理科で習った歴史や化学・物理などはまず役に立ちません。社会に出ると、社会や理科で習う「なぜ、なぜ?」と考えることが重要になります。一方、音楽や美術は、脳を喜ばせて感じる力を養ってくれます。いろいろ経験して、一生付き合える良い友達を見つけてください。そんな話をしています。

町で会った子どもが、ニコッと笑って挨拶してくれことがあります。あなたも、子ども達に何か伝えてみては？

(東雪谷・鈴木 勉)

団員募集！田園調布消防団第六分団

第六分団は上池上自治会と久が原地区の道々橋自治会が担当地区で、上池上自治会の消防署の管轄は久が原出張所という、雪谷地区としては変則的なものになっています。私は昨年4月に海老澤前分団長より引き継ぎました。前分団長のときに、第六分団の行事のすべてを見直し、業務の適正化、作業内容を明確化にして規律正しい分団になったと思います。2月には8棟も延焼する火災がありました。地域内でも分団員の分布が手薄なところがあり、地域の情報収集など、団員が均等にいることの重要性を改めて感じました。現在、団員の募集を団・消防署あわせて取り組んでいるところです。何が出来るかわかりませんが、「微力でも地域の役に立ちたい」と入団いただいた方もいらっしゃいますので、一緒に活動していただける方をお待ちしています。今後も災害に備え、雪谷地区の地域力の一翼を担うことを目指していきます。引き続き、皆様のご支援を宜しくお願ひ致します。

(田園調布消防団第六分団分団長・安達敏則)